ひろげる　つながる　ろうけんの輪

ろうけん 鹿児島

ROKEN Kagoshima

No125
令和８年(2026)
10月１日発行



「大地回想’１４」　祝迫 正豊　（2014年作　横４m×縦２m）

公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

INDEX

時代を読む …… 1
川上　秀一
九州ブロック介護老人保健施設大会
in長崎 …… 2～3
研く　究める …… 4～9
令和８年度　研修会 …… 10
協会だより 11
こぼれおちたものもの㊾ …… 12
三角　みづ紀
ろうけん広場 …… 13
ぶらぶらが素敵　かごしま㉕ …… 14～15
かごしまの食卓　秋編 …… 16
老健に入るためのご案内 …… 17
介護用品あれこれ …… 18～19
あなたの地域の介護老人保健施設 …… 20～24
伊佐・姶良地区
日置・川薩・北薩地区
鹿児島地区
曽於・肝属地区
南薩地区・熊毛・大島地区
表紙絵
「大地回想'14」 …… 25
祝迫　正豊
編集後記 …… 25



ろうけんとは

「ろうけん」とは、介護保険が適用される介護老人保健施設の愛称です。県内の76カ所の施設が公益社団法人鹿児島県老人保健施設協会を組織しています。この冊子「ろうけん鹿児島」は、同協会の広報誌です。

時代を読む

外国人労働者を雇用して思う

鹿児島県老人保健施設協会 理事
川上 秀一



私は平成29年から鹿児島県老人保健施設協会理事を務めていますが、普段は無床診療所の院長と医療法人理事長の仕事をしています。外来診療や在宅患者の主治医としての仕事が中心ですが、当法人の介護老人保健施設から施設長不在時に往診依頼があれば往診します。それが看取りであることもあります。そういう時に理事長の立場で老健施設の内情を見ます。

ここ数年、当法人の老健施設で働く外国人労働者が増えてきました。当法人には2つの老健施設がありますが、その職員数は約160人、そのうち13人が外国人労働者です。フィリピン人9人、インドネシア人3人、ベトナム人1人という構成で、一番勤務年数が長い人が6年です。彼女らは日常会話はできますが、国民性、文化、宗教の違いから会話に注意する必要があります。人と人と情報伝達が、日本人同士なら雰囲気から分かることが多いですが、彼女らにははっきり言う必要があります。「阿吽(あうん)の呼吸」とか「以心伝心」はないということです。

入職5カ月月の20代のフィリピン人に困っていることはないか尋ねてみました。仕事は大丈夫と何度も答えてくれました。休みの日は天文館までバスに乗って気晴らしにカラオケに行くと、嬉(うれ)しそうに話してくれました。日本に来て半年しかたっていないのに先日飛行機で大阪に遊びに行ったと、何ともすごい行動力です。

外国人労働者が日本の介護現場で働けるようになったのは、2008年の経済連携協定からです。その後、介護現場における人手不足が深刻化し、外国人の雇用が増加し、2017年、2019年に制度改変が行われました。来年2027年4月には再び法改正されて「育成就労制度」としてスタートします。

日本人の入職者が少ないという現実において、外国人労働者は今の介護現場にはなくてはならない存在になっていますが、経営の立場からコストがかかります。

なぜなら、まず、人材紹介のエージェンシーにお金を払います。外国人労働者が住む住居を用意し、寝具、冷蔵庫、エアコンなどの日常生活必需品を揃え、母国への交通費（飛行機代）を一部負担する場合さえあります。それだけの努力を法人でしなければ鹿児島という地方で外国人労働者に働き続けてもらうことはできないようです。

さらに介護福祉士という国家資格を持たない外国人労働者が増え過ぎるとサービス提供体制強化加算に悪い影響を与えます。もちろん勤続年数10年以上の介護福祉士の割合を高めることで算定要件をクリアするという方法がありますが。

日本人の介護福祉士たちから、できたら日曜祝日を家族と過ごしたい、子どもの学校行事に何とか参加したいという希望がまとまって出てきます。こういう場合に外国人労働者に曜日はあまり関係ありませんから有力な戦力になります。このように外国人労働者が、母国を離れ日本という異国の地で、毎日頑張っているのは、やはり彼女らの心が自分の家族と強くつながっているからでした。彼女らはほぼ毎日スマートフォンを使って家族にテレビ電話をして母国を感じています。テレビ電話は無線ランによるインターネット環境があればお金はかかりません。

2040年には高齢化がピークを迎え、全国で約272万人の介護職員が必要なのに約57万人介護職員が足りなくなると厚生労働省が推計しています。となると、どうしても外国人労働者が貴重な労働力になります。当法人は延べ19人の外国人労働者を雇用してきましたが、大事なことは外国人労働者を介護サービスを共に支える重要な戦力と捉えることだと思います。可能であるなら外国人労働者のキャリア形成をサポートできればと思います。

Roken　Report



長崎市の出島メッセ長崎で開かれた九州ブロック介護老人保健施設大会ｉｎ長崎。九州各県の施設関係者が参加しました

九州ブロック介護老人保健施設大会ｉｎ長崎

カステラ・ちゃんぽん・老健
～みんなにとってのあたりまえ

鹿児島の発表8件
「相談する勇気」強調

第25回九州ブロック介護老人保健施設大会ｉｎ長崎は、7月16、17の両日、長崎市の出島メッセ長崎で開かれました。大会テーマは「カステラ・ちゃんぽん・老健～みんなにとってのあたりまえ」。九州各県の施設が、多職種連携や独自の工夫によって、人手不足や入所者の環境改善を目指すなどの取り組みを発表しました。

大会会長の南祐三・長崎県老健協会長が開会宣言。人材確保やＤＸ推進など現場が多くの課題に直面していることに触れ、「創意工夫や多職種連携によって、新たな価値や可能性も生まれている。大会が学びと交流を深める場にして、今後の実践につながることを期待します」と述べました。

大会は約千人が参加。演題発表は食事・栄養・口腔ケア▽通所リハ・訪問リハ▽安全管理・リスクマネジメント▽生産性向上推進▽医療と看護▽全般的なケア▽在宅復帰・地域支援▽人材確保・育成▽認知症ケア▽リハビリテーション▽入浴・排泄ケアなどのカテゴリーで行われました。2日間で演題は120件に上り、鹿児島からは8件の発表がありました。

このうち、サンテリアのがた（大崎町）の門之口ゆうりさんは「不安を乗り越え得られた新人介護職員の成長要因の検討～チームの力を活かしたケア実践」のテーマで報告。門之口さんは高校卒業後、認知症介護の職に就いて2年。知識や技術不足から問題を1人で抱え込み、利用者対応に自信を持てない状態が続いたということです。そこで、不安や混乱を整理するため、3つの取り組みを実行。それは相談、実践、記録確認でした。「勇気を出して多職種に相談したところ、多角的視点からの助言が得られ、先輩職員と共にケアを実践しました」。入所者との関わり方も徐々に見えてきたということです。

その中でわかったことは「相談できない自分自身」という課題だったそうです。門之口さんは「新人職員の成長には『相談する勇気』『実践を模倣して学ぶ姿勢』『利用者理解を深める努力』が求められる」と強調。自分と同じように悩む新人職員に「助けを求めることは弱さではなく専門職としての第一歩と伝えたい」と発表しました。


分科会で発表するサンテリアのがたの門之口さん

ほかの鹿児島の発表者とテーマは次の通り。

▽アメニティ国分（霧島市）轟木秀信さん「『できる』を探し続けて―対麻痺を抱えながら在宅生活と趣味・運転を取り戻す～前向きな姿勢と多職種連携によるQOL向上の取り組み」

▽ナーシングホームひだまり（鹿屋市）上園沙弥子さん「D-Freeを用いた排泄アセスメントの有効性　42症例データに基づく排尿予測精度と個別ケアへの影響」

▽サンセリテのがた（大崎町）山口翔平さん「閉鎖から開放のパラドックス～施錠撤廃がもたらしたBPSDの変化とチーム連携の進展」

▽アメニティ国分（霧島市）小倉麻希さん「大幅な人員減少に伴う大改革～これまでのやり方にこだわらない発想の転換」

▽青雲荘（姶良市）田畑浩平さん「歩行トレーニングロボット導入による多職種連携の成果～自立支援促進に関する取り組み」

▽愛と結の街（鹿児島市）櫻井龍晴さん「フリー配置導入によるレクリエーション実施率向上の検討～フリー職員配置による業務改善の効果」

▽アメニティ国分（霧島市）藏元隆史さん「技能実習生受入れの継続と支援体制の高度化」

（編集委員・米森）


各分科会会場はどこも満員。出席者は九州内の施設の〝仲間〟たちによる発表に聞き入っていました

研く究める

よりよい介護を目ざし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

老健入所者に対するeスポーツ導入の試み
～Nintendo Switch Sportsを用いた認知刺激への応用～

介護老人保健施設　青雲荘（姶良市）　作業療法士　江藤　脩将
作業療法士　溝口加奈子

【はじめに】

近年、デジタルゲームをスポーツ競技としてとらえる「e-sports（エレクトロニック・スポーツ）」が世界的に注目を集めている。e-sports は娯楽にとどまらず、集中力・戦略的思考、チーム競技においてはコミュニケーション能力を高める効果が期待される。また、高齢者領域においては反応速度・注意機能・視空間認知など認知機能を刺激し得る活動として注目されており、身体的負荷が少なく座位のまま実施できるゲームも多い。青雲荘では、操作が直感的で分かりやすく、ゲーム理解がしやすいタイトルを揃えている NintendoSwitch を導入している。今回、「SwitchSports」を実施し、認知症高齢者に対して認知刺激及び、活動中の行動変化への影響について検討した。

【対象期間・頻度】

2024年12月～2025年4月
週1回金曜日の午後30分～1時間程度

【方法】

当施設入所者のうち、活動参加が得られた8名（認知症5名、非認知症3名）。SwitchSports の「ゴルフ」を実施した。その理由は以下のとおりである。

①視覚的情報が明確であり、ゴールがわかりやすい
②即時フィードバックが得られ、成功・失敗が視覚的にわかりやすい
③身体負荷が少なく安全に実施可能である
④複数のコースや難易度を選べるため、負荷調整がしやすい

総じて、ゴルフは認知刺激・楽しさ・安全性・継続しやすさのバランスが最も優れていると判断し、導入競技として選択した。評価指標にはHDS-R、TMT-A／B、DBD13を用いた。

【経過・結果】

介入初期：参加者の多くがeスポーツになじみのない方がほとんどである為参加自体に難色を示す方も多くいた。その為口頭での説明・身体接触を伴う（腕を振る）（ボタンを押す）サポートを行うことでルールや、ゲーム操作法の確認など参加するにあたっての混乱を予防した。

3カ月経過時：操作に慣れてきた方を中心にゲームのプレイ進行速度が向上し、操作が不慣れな方に対してのアドバイスや応援という参加者同士の自主的な関わりが増えてきた。ボタンやスイング操作を助言する場面、



（図1　経過）

不慣れな方が慣れた方の様子をまねて操作を行うようになるなどの場面内学習も観察された。この頃より口頭説明や操作支援量は減少し、活動中の笑顔や他者への応援の声掛けなどの情動的反応が多くみられ、入所者からスタッフへの声掛けが増加し活動への参加意欲向上が見られるようになった。

5カ月経過時点（最終評価時）：HDS-Rは全体として維持が認められ、認知症者・非認知症者共に顕著な低下は見られなかった。



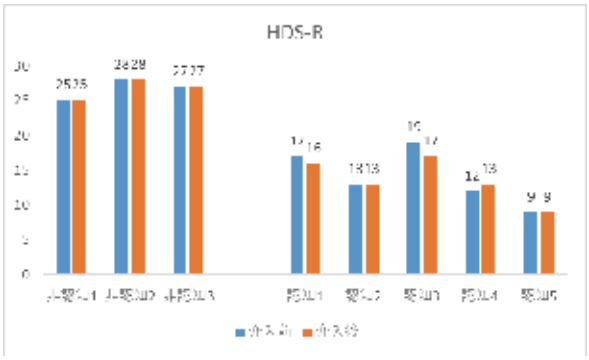
図4　SwitchSports「ゴルフ」をする利用者の様子

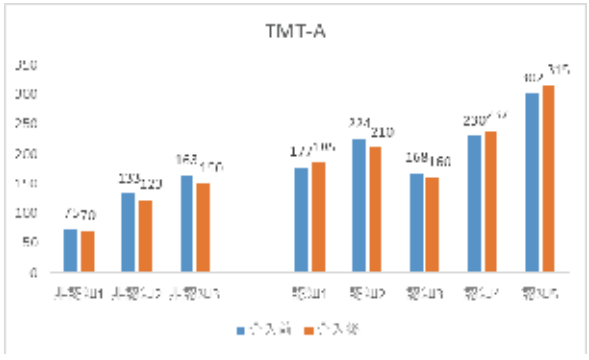


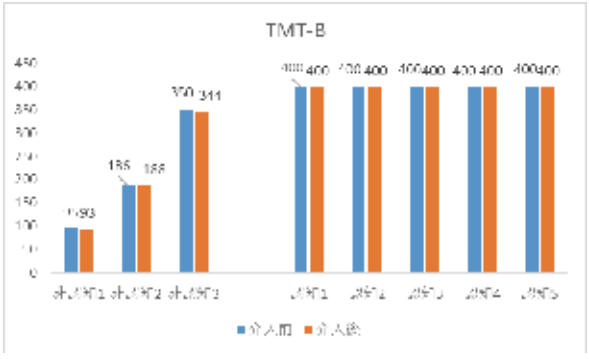
図2　Nintendo Switch

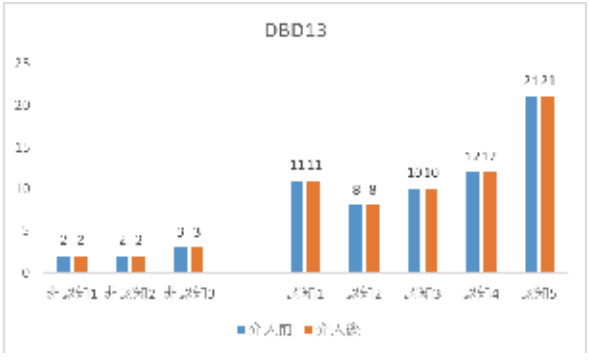


図3　Switch　sports









TMT及びDBDでも大きな数値変化を示さなかったものの、ゲーム操作の習熟・支援量の減少といった質的変化、活動参加への積極性などが確認された。

【考察・まとめ】

本取り組みでは、SwitchSportsを用いたゴルフ活動を継続する中で、参加者の行動面に変化が見られた。活動への期待や参加意欲の高まりは、SwitchSportsの「ゴルフ」というゲーム性にある即時フィードバックや達成感によるものが影響しているのではないかと考えられる。更に、操作理解度が高まることで支援量が減少し、画面情報を読み取り行動を選択していく場面も観察できた。これらの変化は手続き記憶の活性化だけではなく、視空間認知処理や遂行機能などの活性化も図れている可能性が考えられる。特にSwitchSportsのゴルフは、距離・飛ばす方向・スイングの強弱など複数の判断要素を含み、プレイを積み重ねることによってこれらが自然的に認知刺激として作用したのではないかと考えられる。

評価指標（HDS-R・TMT・DBD）では、機能維持という結果になったものの、活動参加者においてはゲーム操作の習熟や活動意欲の高まりなど評価指標ではとらえきれなかった認知的なプロセス・学習過程が活動中に自然に観察できた。

SwitchSports導入は、老健入所者に対して無理のない運動要素、ゲーム性を合わせた認知刺激・活動参加の提供手段となり得るものであった。今後も活動参加者が様々な体験・刺激によって楽しみながら認知機能の維持が図れるように活動の提供を行っていきたい。

研く究める

よりよい介護を目ざし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

歩行トレーニングロボット導入による多職種連携の成果

～自立支援促進に関する取り組み～

介護老人保健施設　青雲荘（姶良市）
理学療法士　田畑　浩平
介護支援専門員　松元　三記

【はじめに】

当施設では令和６年８月より自立支援促進加算を算定し、入所者個々の自立支援に向けた具体的な目標設定と日常生活における支援を組織全体で進めている。

その中で今回、Panasonic 社の歩行トレーニングロボット（以下：ＷＴＲ）を導入したことは多職種連携を強化する契機となった。本稿ではＷＴＲ導入による多職種で自立支援に取り組んだ事例を紹介する。

【自立支援促進に取り組むメリット】

多職種が情報共有し、入所者一人ひとりの「出来ること」や、これまでの生活歴・役割・大切にしてきたことに目を向けながら支援することに大きな意義があると考える。結果、入所者が自分らしく活動できる機会が増え、意欲向上に繋がるなど生活の質の向上にも繋がっている。

職員も職種の垣根を越えて一つの目標に向かって取り組むことで、一体感が生まれ、ケアに対する意識やモチベーション向上にも繋がっている。

一方で、多職種カンファレンスやＬＩＦＥ入力などの業務負担は増えるが、全国的に算定施設が限られる中、当施設では「できるを支えるケア」の実践と科学的介護を推進するために自立支援促進加算の取得に取り組んでいる。

【背景・課題】

当施設では多職種協働で自立支援促進に取り組んでおり、主に外出支援や歩行練習など提供している。その中でも歩行練習における課題として、

① 歩行器の準備や高さ調整に手間がかかる。
② 介護士の人手不足などで実施負担が大きい。
③ その日の担当職員によって距離にバラつきがある。

その結果、十分な歩行練習が出来ない日が発生していた。

【症例紹介】

80歳代女性、要介護２
２０２５年１月　肋骨骨折を契機に車椅子生活に移行。
基本動作・ＡＤＬは車椅子を用いて一部介助～自立。
歩行能力の維持向上を目標に自立支援を推進。
（※図①参照）

【WTR の特徴】



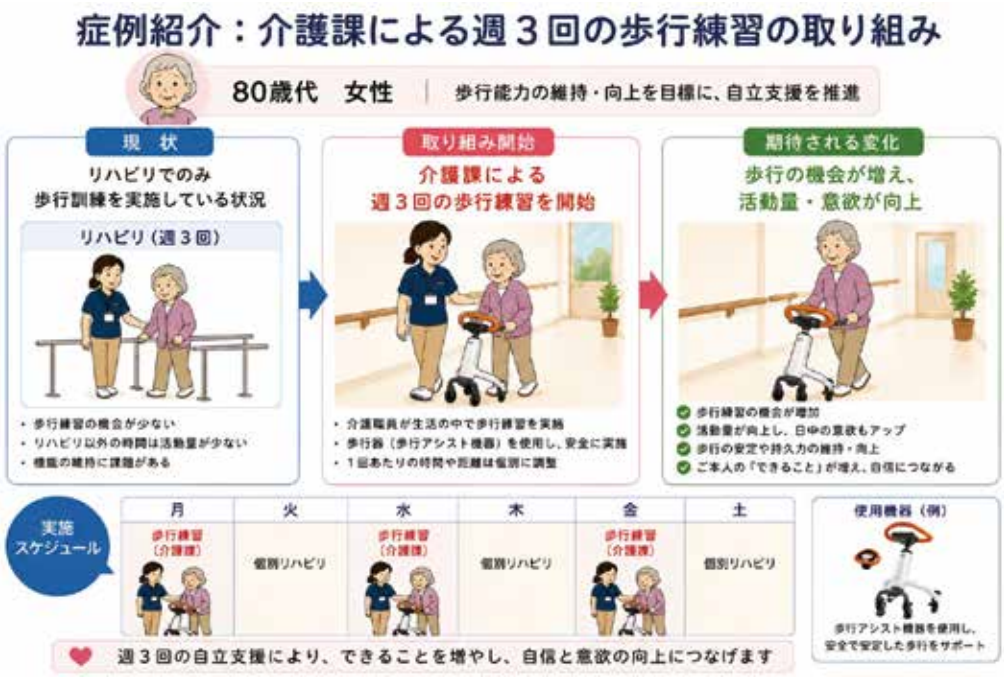
【取り組み】

週３回の個別リハビリに加え、介護士による週３回の歩行練習を開始した。（※図①参照）

【経過・結果】

取り組み期間中に娘宅へ外泊した際、本人・家族が歩行練習の成果を感じ、今後も在宅復帰のために継続して欲しいと希望あり。

入所７カ月後、日中はシルバーカー歩行へ移行でき、その後は在宅復帰を達成した。現在は短期入所も利用し、生活されている。月に１回程、娘さんとの外出（食事やお墓参りなど）を継続している。



（※図①症例紹介・取り組み）

【考察・まとめ】

職員の利点としてＷＴＲは機械操作が簡単で、技能実習生など外国の方でも操作可能で統一された運動メニューを提供することが出来た。多職種が共通の視点を持ち、入所者の自立支援促進に取り組むことで、入所者の「潜在的能力」や「できる可能性」に着目した支援へとつながった点は大きな成果だった。共通のツールを活用することで、多職種間の目標共有が容易になり、より円滑な連携を図る事が可能となった。身体機能の向上に伴う福祉用具の変更や介助量の軽減、生活範囲の拡大に繋がった。

入所者の利点としてリアルタイムで歩行時間や距離が数値化され、モニター表示されるのでフィードバックがされやすかった。どの職員が担当しても統一された運動メニューに取り組むことができた。歩行機会が増え、活動量・意欲の向上、本人の「出来ること」も増えた。（※写真①参照）



（※写真①　モニター画面）

【考察・まとめ】

施設内部の生活に目を向けた目標設定になる傾向があった。今後は施設の外にも目を向けた目標設定や家族も巻き込んだ取り組みを行うことで、本人の努力や成長を職員・家族とも共有し、本人の自信や意欲向上、家族の介護理解促進にも繋がると考える。さらに職員間の連携を深化させ、より実効性の高い自立支援の実現も目指したい。



技能実習生と歩行中の様子
（※写真掲載は本人承諾を得ています）

研く究める

よりよい介護を目ざし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

フリー職員配置導入によるレクリエーション実施率向上の検討

～フリー職員配置による業務改善の効果～

介護老人保健施設　愛と結の街（鹿児島市）　介護福祉士　櫻井　龍晴

【はじめに】

介護老人保健施設におけるレクリエーションは、利用者の生活意欲の向上や身体・認知機能の維持に寄与する重要なケアである。しかし当施設では近年、人員不足や業務負担の増加、感染症対策の影響により継続的なレクリエーションの実施が困難となっている。当棟においてもレクリエーション活動の停滞が課題であった。そこで本研究では、人員が限られる状況下でもレクリエーションを継続できる体制構築を目的に、業務整理および人員配置の見直しを行い、その効果と課題について検討した。

【対象】

3階療養棟職員24名および入所利用者45名。

【方法】

従来、日勤帯は3名でフロア業務全般を担っていたが、業務効率化とレクリエーション時間の確保を目的にチームを2人体制へ再編し、1名をフリー職員として配置。フリー職員は午前に体操や脳トレ等の集団活動を実施し、午後は遅出職員の補助およびレクリエーション活動を担当した。また職員の役割分担を明確化し、業務の可視化を図るため、取り組み後に職員アンケートを実施し、業務負担やレクリエーションの実施状況、利用者の変化について評価した。

【結果】

アンケートは22名から回収（回収率91・7％）した。レクリエーションについては「概ね実施できている」との回答が多数を占めた。業務負担は「やや軽減した」との回答が多く、動線の簡素化や業務の見通し向上が要因として挙げられた。利用者の変化としては「離床時間の増加」「利用者同士の交流増加」が多く、活動意欲の向上が示唆された。また、レクリエーションの実施頻度は導入前と比較して増加傾向を認めた。一方で、欠員時には体制維持が困難であることや、レクリエーション内容・物品の充実が課題として挙げられた。



【考察】

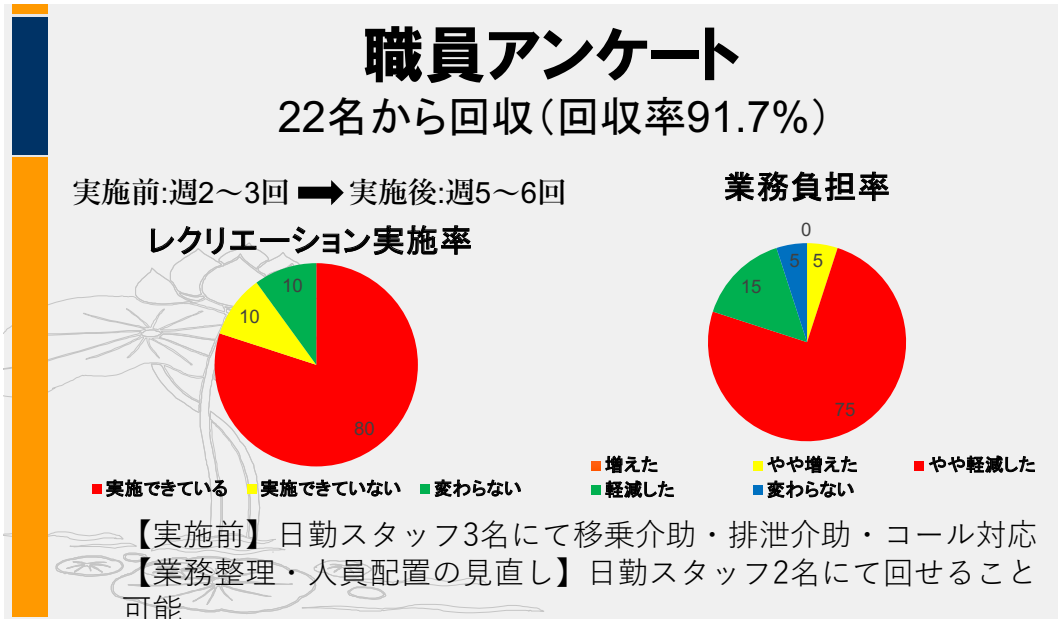
人員減少下でレクリエーションを継続するためには、業務量の増加ではなく業務再編が重要である。本取り組みによりフリー職員の配置と役割分担の明

確化を行ったことで業務効率化が図られたと考える。またレクリエーションの実施は利用者の活動性向上に寄与し、結果として見守りの集約化やナースコール対応の減少につながり、スタッフの身体的・心理的負担軽減にも寄与した可能性がある。



【結論】

業務整理と人員配置の工夫により、人員が限られた状況下でもレクリエーションの継続的実施は可能であることが示唆された。今後はレクリエーション内容の標準化や物品整備、他職種・地域資源の活用を進め、さらなるレクリエーションの質の向上と持続可能な体制構築を目指し、利用者の身体的な維持向上を図りながら利用者同士のコミュニケーションの機会を増やし、施設での生活の質の向上に結びつけて行きたい。





令和8年度 研修会

PT・OT・ST部門

日　時：令和８年７月31日（金）14：00～16：00
会　場：鹿児島県医師会館3F中ホール

テーマ

「施設リハ部門における管理運営について」

講　師： 岩森　俊　先生（認定理学療法士）

鹿児島大学医学部保健学科准教授をお招きし講演していただきました。
・終末期の身体的兆候や症状の変化と観察
・入所者と家族へのケアについて、体験談も交えながらわかりやすくお話していただきました。現場で働く職員にとって振り返る良い機会だったのではないかと思います。

参加された方の感想です。

〇評価日時
・非常に良かった
・良かった

〇理解
・よく理解できた
・どちらかと言えば理解できた

〇今後、改善したほうが良いと思う項目
・なし

〇改善してほしい理由
・なし

〇次回どのような研修会を希望しますか
・入所からの在宅復帰について
・各施設の取り組みなど

〇今回の講師や研修の内容についての感想
・当施設において人材育成、教育体制が不十分だと感じています。私自身「管理職」としてのビジョンが曖昧なため、自施設の強みや弱みを把握しながら体制の見直しを行い、働き甲斐のある職場づくりを目指したいと思いました。貴重なお時間でした。ありがとうございました。
・非常にわかりやすい講義でした。管理運営という経営者に近い立場で物事を進めていく難しさなど様々な取り組みや理論を学ぶことができました。現在、私共の施設ではリハ職が管理運営に関わってはいませんが今回の研修講義内容を多職種へ共有し、運営の糧に繋がるように努力してみたいと思います。貴重な講義をありがとうございました。

〇集計内容について
今回のアンケートでは回答数が少なかったものの「非常に良かった、良かった」と高評価を得られました。
各施設で業務・人事管理、人材育成や教育体制、人間関係などさまざまな悩みや問題を抱えている立場の方々にとって非常に有意義な講義となったようです。

介護老人保健施設　希望の里　介護支援専門員　山下　優子

協会だより　令和８年８月～

●令和８年度第１回給食部会
開催日：令和８年８月18日(火)14：00～16：00
場　所：県医師会館３階中ホール
テーマ：「摂食機能嚥下機能と嚥下調整食の対応(自宅でできる調整法)」
講　師：愛知学院大学　健康科学部　牧野　日和　教授

●令和８年度第１回看護・介護部会
開催日：令和８年９月30日(水)14：00～16：00
場　所：県医師会館３階中ホール
テーマ：「介護に携わる上での心構えや姿勢など、認知症ケアについて」(仮題)
講　師：特別養護老人ホーム　鹿屋長寿苑　施設長　林田　貴久　様

●第38回全国介護老人保健施設大会鹿児島実行委員会
開催日：令和８年９月７日(月)14：00～16：00
場　所：鹿児島県医師会館３階中ホール

●第38回全国介護老人保健施設大会鹿児島実行委員会
開催日：令和８年10月５日(月)14：00～16：00(予定)
場　所：鹿児島県医師会館３階中ホール

●令和８年度第２回PT・OT・ST部会
開催日：令和８年11月27日(金)14：00～16：00
場　所：鹿児島県医師会館３階中ホール
テーマ：「認知症について」(仮題)
講　師：潤和会記念病院　田代　学　先生





【ご参考】

●第31回鹿児島県老人保健施設大会
テーマ：シン・老健　～変わる時代、変わらない想い～
開催日：令和９年２月16日(火)～17日(水)
会　場：　鹿児島県医師会館(3F・4F)

●第37回栃木全国介護老人保健施設大会
開催日：令和８年10月22日(木)～23日(金)
場　所：ライトキューブ宇都宮マロニエプラザ他



●第38回全国介護老人保健施設大会鹿児島
開催日：令和９年11月11日(木)～12日(金)
場　所：カクイックス交流センター他

(※)本号編集時点の情報です。やむを得ず変更する場合があります。
詳細が確定次第あらためてファックスで会員施設へご案内します。

こぼれおちたものもの 49

三角 みづ紀



7月、新冠の村にて

鳥の声が響いて、馬のいななきが届く。車の音が聞こえたら、ほんのちょっと姿勢をただす。

七月末の新冠（にいかっぷ）は雨と曇りの日が続いている。ほとんどひとが訪れないパークゴルフ場の受付にある窓より、揺れる木々を眺めていた。

夫が日高地方のウェブマガジンの仕事をすることになった。一緒に滞在して、散歩をしたり詩を書いたりしていたら、「人手が足りないのでゴルフ場の受付を手伝ってくれない？」と言われた。

早朝から日が暮れるまで。長時間になるけれど、わたしが担当する火曜日と水曜日には、あまりたくさんのひとはやってこない。インターネットがあるし、受付のデスクにパソコンを置いて仕事もできる。

日高地方の新冠。北海道に住むひとでも、新冠の場所を知らないことがある。わかりやすく説明すると、日高山脈の左側に位置するところ。帯広の反対側といったら伝わりやすいかもしれない。地図で見たら、先端になっている襟裳岬（えりもみさき）から西の道を北上したところに位置している。



札幌より最高気温も最低気温も五度くらい低くて、夏は過ごしやすい。冬には雪が少ない。暮らしやすい町。

午前九時になったら、パークゴルフ場に「いつもの顔ぶれ」がやってくる。利用者名簿に名前を書いてもらい、たまにクラブやボールを貸しだしたりする。ほぼ毎日訪れるおじいちゃんやおばあちゃんを見ていると、元気だなと思う。集う場所、そして運動する場所があるって、町にとってもよいことなのだ。

時折、予想外の来客もある。鹿の親子だったり、隣接する乗馬クラブに住みつく猫だったり。顔馴染みになった猫は、受付の台に飛び乗って、なにやら話しかけてくる。

暗くなったら事務所と休憩室の電気を消してシャッターを下ろすのだが、猫が居座ってしまったときは少し困った。仕方がないので、にゃーっと声を発しながら追いかけると、乗馬クラブへ逃げていった。かわいそうなことをしたなと思うが、シャッターのなかに閉じ込めるほうがよっぽどかわいそう。

雨の朝。草刈りをするサイトウさんが、天気予報だと雨じゃなかったのにな、と言いながらやってきた。サイトウさんは自家菜園のトマトをくれたり、草刈りの最中に発見した山菜をくれたりする男性だ。

そのあとに、オノデラさんもやってくる。オノデラさんはパークゴルフ場のみならず、美術館の草刈りもしている。草刈機を巧みに操るふたりの姿はかっこいい。

毎日まいにち、勢いよく成長していく草たち。放っておいたら、勢いよく森になっていくのだろう。

執筆ばかりして、アルバイトもほとんどしたことがないわたしにとって、この社会生活は穏やかで、あたたかさに包まれている。思いのほか、ひとと喋るのが好きみたい。四十五歳にして、自分のあたらしい一面を知った。

「接点」

いま　おなじ場所にいること
それがわたしたちをつなげて
すれ違ったり出会ったりして
地球の上を　歩いていくから
雨も霧も眩しい陽光も受けて
あしたはどこにいるのだろう
あしたのわたしは何色だろう

雨が降り続いて、お客さんはいない。ラジオを流して、詩を書く。おやつを取り出して食べる。また猫がやってきてくれるかなと期待する。愛おしい縞模様の名前を、わたしはまだ知らない。

三角みづ紀（みすみ・みづき）　1981年鹿児島市生まれ。東京造形大学視覚伝達学科在学中に現代詩手帖賞、第1詩集で中原中也賞を受賞。第2詩集で南日本文学賞、歴程新鋭賞受賞。著書多数。執筆のほか朗読活動も精力的に行い国内外の詩祭に招致される。近年は美術作品として詩を制作する等、あらゆる表現を現代詩として発信している。第22回（平成26年度）萩原朔太郎賞受賞。

ろうけん広場

九州ブロック長崎大会で、来年秋に鹿児島市で開かれる老健全国大会をアピールする実行委員会のメンバーたち。その奮闘ぶりを紹介します







❶❷懇親会会場で、そろいの法被を着ておはら節を踊る鹿児島大会のメンバー。新たに作ったのぼり旗も並びました。

❸「西郷さんそっくり！」 アメニティ国分の藏元隆史さんが愛犬のツンと登場し、会場を沸かせました。





開会前に鹿児島の観光パンフレットなどを袋詰めする実行委メンバー。大会会場入り口には「鹿児島ブース」も設営されました。



あちこちで鹿児島を紹介する画像が映し出され、果たしてここは長崎？と思ってしまいそうでした。長崎県老健協会の協力に感謝です。



長崎大会の直前、おはら節の練習。みんな真剣に取り組みました。「どらきばらんなら」。

@ROUKENKAGOSHIMA

第38回全国介護老人保健施設大会鹿児島インスタグラム

ぶらぶらが素敵 かごしま

vol.25

NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会代表理事
東川隆太郎





帆之港



日置島津家菩提寺の大乗寺跡

南北600キロに及ぶ鹿児島県。気候や風土、文化に歴史にもそれぞれの地域に特徴があり、県内をめぐるだけでも相当な発見があります。そのような鹿児島県の意外な魅力を様々な角度から訪ねてみる連載です。

日置で隠れ念仏の思いに触れてみて

今年2026年は浄土真宗が鹿児島で開教されて150周年にあたる。薩摩藩においては、島津氏が当時は一向宗と呼ばれていた宗教を領内において禁じたことが背景にある。明治政府が信教の自由を政策として進める中、明治9(1876)年にようやく浄土真宗も鹿児島県全体において開教となった。

江戸時代を通じて表面的には信教が許されず、また藩役人による取り締まりもあったことから、信者は潜んで信仰する形態をとった。こうした状態は「隠れ念仏」とも称され、薩摩藩領内各地に人里離れた場所の洞窟などでお念仏を唱えていたとされる「隠れガマ」が伝わっている。

「隠れ念仏」のさまざまな伝えが残されている地域のひとつに日置地区がある。江戸時代には日置島津家の私領地であり、関連の史跡も点在している。日置島津家の菩提寺である大乗寺などは曹洞宗の寺院であって一向宗ではない。しかし日置島津家の当主の中には一向宗との関わりが疑われる人物もおり、4代久慶はそのひとりであった。さらに領内に庶民などが信仰していたとされる集落もある。

そもそも、日置地区の古い港であった帆


笠ヶ野集落


川口集落のイボ神


阿弥陀山


島津久慶の墓


明信寺


笠ヶ野の田の神


笠ヶ野のガマ跡

之港は、浄土真宗が南九州に伝来した最初の地域のひとつとされている。今は和歌山県の寺院に伝わる阿弥陀仏の掛け軸に、永正３（１５０６）年薩摩国の千野湊という記述があり、この千野湊が帆之港を指すのではないかという指摘もある。大川の河口にあたり、南薩鉄道開通以前は貿易港としての役割を担っていた。

山間部には「隠れ念仏」のガマがあったとされる集落もある。日置地区の北端に位置する川口集落もそのひとつで、集落内にあるイボの神は阿弥陀如来像のようにもみえる。地元では「かさごん」と呼ばれる笠ヶ野集落にも隠れて念仏を唱えていたとされる「ガマ」跡がある。ここの田の神像も仏像型をしている。他にも上の馬場集落や中牟礼集落も隠れの話が伝わる。狩谷集落には阿弥陀山という阿弥陀詣りをしていた場所もある。また１８９３（明治16）年に寺号が公称された明信寺は県内２番目という早い時期に建立された浄土真宗の寺院である。

日置地区では過酷な環境下でも信仰していた人々の思いに触れることができる。節目の今年、そのような視点をもって訪れてみてはいかがだろうか。

（ひがしかわ・りゅうたろう）　１９７２年、鹿児島市生まれ。鹿児島大学理学部地学科卒業。自他共に認める「まち歩き」のプロ。ガイドや講演会活動を通じて鹿児島の魅力を伝える活動を続けている。



千葉 しのぶ さん かごしまの食卓 秋編



ちばしのぶ　ＮＰＯ法人霧島食育研究会理事長、管理栄養士・フードコーディネーター。「霧島・食の文化祭」「かごしま郷土料理マイスター講座」などを主宰する。2020年千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオを設立。著書に「はじめての郷土料理」（燦燦舎）など。

福神漬け

福神漬けは赤く着色されカレーなどに添えられているイメージがありますが、本来はダイコン、ナス、レンコンなどの野菜をしょうゆ味の調味液で漬けたものです。
名前の由来には、使われた多種の野菜を七福神になぞらえて福神漬と命名したという説や、おかずがほかに要らないほどおいしく、食費が浮くので、まるで福の神のようだからという説もあります。



野菜は塩もみしたら、しっかり水分を絞りましょう。

レシピ（作りやすい分量）

- ダイコン 150グラム　ナス 100グラム　キュウリ 100グラム
- ショウガ 20グラム　水煮レンコン 50グラム
- 調味料（濃い口しょうゆ大さじ３、砂糖・本みりん各大さじ2と1/2、酢大さじ１）
- 野菜昆布 5センチ　白ゴマ　大さじ１

①大根は皮ごと４つ割りにし３ミリ厚さのいちょう切りにする。
②ナスは皮をむき、１センチ厚さの半月切りにし、２分ほど水に漬けて、しっかり絞る。
③キュウリは皮付きのまま、３ミリ厚さの小口切りにする。
④①②③を合わせ、塩大さじ 1/2 を加え軽くもみ２分おき、しっかり水分を絞っておく。
⑤野菜昆布は水につけて柔らかくして、せん切りにする。水煮レンコンは３ミリ厚さのいちょう切りに、ショウガはみじん切りにする。
⑥なべに調味料を合わせ、野菜昆布・白ゴマ・ショウガも加え、火にかける。沸騰したら他の材料をすべて入れ、再度沸騰したら火を止める。
⑦⑥をザルでこし、汁だけ弱火で５分ほど煮詰めて火を止め再度全体を合わせる。粗熱が取れたら冷蔵庫に入れる。

さばつみれ入りみそ汁



サバの代わりにブリでもおいしく作れます。

サバは、秋から冬にかけ、たっぷりと脂肪を蓄えています。身をたたいて「つみれ団子」にし、みそ汁に落とすと濃厚な旨みの汁物になります。
味噌汁の具材は大根がよく合います。ショウガを加えると風味も増します。

レシピ（4人分）

- サバ切り身 150グラム　ショウガみじん切り 小さじ1/2
- 塩 小さじ1/4　ダイコン 100グラム
- 深ネギ 100グラム　かつお節 6グラム　水3カップ
- 麦みそ50グラム　一味唐辛子　適宜

①水を沸騰させ、かつおぶしを加え、再度沸騰したら火を止め2分したらこす。
②サバ切り身は皮と骨を除き、細かくなるようにたたいてショウガのみじん切りを加える。さらに塩を加え、混ぜて粘りを出す。
③ダイコンは薄い短冊切り、深ねぎは斜め薄切りにしておく。
④①にダイコン、深ネギを加え、沸騰したら②を丸めながら加える。静かに沸騰が続く程度の火加減で、つみれ団子に火が通ったら、麦みそを加え味見して調節する。
⑤器に盛り、一味唐辛子を振る。

老健に入るためのご案内

1つの事例 入院中の父を入所させたい

【質問】 70歳の父が脳梗塞で入院中です。病院での治療を終え、要介護2の認定を受けました。歩行が不安定なので、いったん老人保健施設に入所し、リハビリを受けた上で家に帰りたいと考えています。老人保健施設へ入所するにはどのようにすればいいのでしょうか。

【お答え】 介護老人保健施設（以下老健）は、病状が安定して、病院での治療よりも、看護や介護、リハビリに重点をおいたケアを必要とされる高齢者を対象とした施設で、高齢者の心身の自立を支援し、親しみやすい環境の中で、家庭生活への復帰を応援します。入所の利用対象者は要介護1～5の認定を受けられた方です。

以上のことから、このケースは老健の入所対象になると考えられます。施設入所までの流れは次をご参照ください。

老健への入所の大まかな流れ

利用者・家族
↓
施設探し
※老健の連絡先については、市町村役場介護保険窓口で紹介してもらうことができるほか、電話帳の「介護老人保健施設」欄や、本誌巻末でも連絡先を知ることができま
↓
電話相談
※老健には必ず「支援相談員」がおり、入所等の相談に応じていますので、相談時は支援相談員を尋ねてみてください。
↓
施設見学
※施設見学の際は事前に各施設へ電話にてご連絡ください。
施設の説明に併せて
・利用者の状態
・要介護度（未申請の場合はお知らせください）
・連絡先　などお尋ねします。
↓
利用者側の入所希望＋施設側の受け入れ可能判断
↓
入所（待機）申し込み
※申し込み方法・待機状況は施設ごとに異なります。施設によっては電話で入所申し込みが可能な施設もありますので、気軽にお尋ねください。しかし、老健についてより知っていただくためにも、一度施設を見学されることをおすすめします。
↓
入　所

まず施設を探す

現在、鹿児島県内には76の老健があり、各地に点在しています。これらの老健については、役場の介護保険窓口で紹介してもらうことができるほか、電話帳の「介護老人保健施設」欄や本誌巻末でも連絡先を知ることができますので、近くにどんな老健があるのか探してみてください。

気軽に相談を



施設が見つかったら相談してみましょう。老健には必ず「支援相談員」がおり、入所等の相談に応じていますので、相談時には支援相談員を尋ねてみてください。相談の形は電話でも直接足を運んでもかまいません。

施設からは利用者ご本人とそのご家族について、また要介護度や連絡先などを確認させていただきます。それに併せて施設の説明を行いますので、料金や待機状況など不明な点は何でも気軽に聞いてください。要介護認定を受けていない場合でも、申請の仕方などケースに応じた説明を行いますのでご心配いりません。

入所待機の申し込み

相談の後、利用者側が入所を希望され、施設側も受け入れ可能と判断しましたら、入所待機の申し込みを行い、いったん待機に入っていただく事になります。申し込み方法や待機状況はさまざまで、施設によっては電話での入所申し込みが可能な所もあります。ですが、老健についてより知っていただくためにも、時間をみつけて1度施設を見学される事をおすすめします。

待機中は

入所日が決定するまでの間に、利用者の状態の変化や、他施設への入所決定等があり、待機の必要がなくなられた場合には、待機中の施設へ連絡をいただけると助かります。

入所までの大まかな流れは、上記の様になります。また、ホームページも参考にしてみてください。

介護用品 あれこれ

介護用品あれこれ

「歩くことをあきらめない靴」 ～履く、歩く、その先へ～

あゆみ ライフステップのご紹介

㈱カクイックスウィング 作業療法士、福祉用具プランナー管理指導者　**湯脇　稔**

はじめに

今回紹介させていただく介護用品は、「歩くことをあきらめない靴」として開発された徳武産業（あゆみ）のライフステップです。

高齢者の靴というと、脱ぎ履きのしやすさが優先されて歩きやすさは後回しにされているように感じます。

そこで、「履く、歩く、その先へ」というコンセプトで製作されたライフステップを試してみられたらいかがでしょうか。

【靴選びのポイント】



○ライフステップの特徴

【履きやすさ】

・ゴム紐をあしらったカジュアルなスニーカー風のデザイン。
・履くときに巻き込みにくい２枚の両開きベロ部。
・足を入れやすく、長時間歩いてもずれにくく、かかとをしっかりと包み込むすべり台状の履き口。

【歩きやすさ】

・台形で安定感があり、次の一歩が踏み出しやすい踵部の靴底形状。
・足の状態に合わせて簡単にしっかりと調整できるマジックベルト。



〇おわりに

秋の気配も深まりお出かけしたくなる季節となりました。

今回紹介しました「脱ぎ履きしやすく歩きやすい靴」ライフステップを履いて、秋の行楽シーズンを楽しんでみませんか。

・資料引用：徳武産業株式会社 HP より

あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



⑦ろうけん姶良
〒899-5652　姶良市平松5062
☎0995-65-8091　FAX 0995-67-1474

希望ヶ丘病院
居宅介護支援事業所ろうけん姶良
訪問介護事業所ろうけん姶良



⑧青雲荘
〒899-5431　姶良市西餅田3024番地1
☎0995-65-8181　FAX 0995-64-5255

青雲会病院
居宅介護支援事業所青雲



⑨アメニティ国分
〒899-4301　霧島市国分重久361-1
☎0995-64-0666　FAX 0995-45-4515

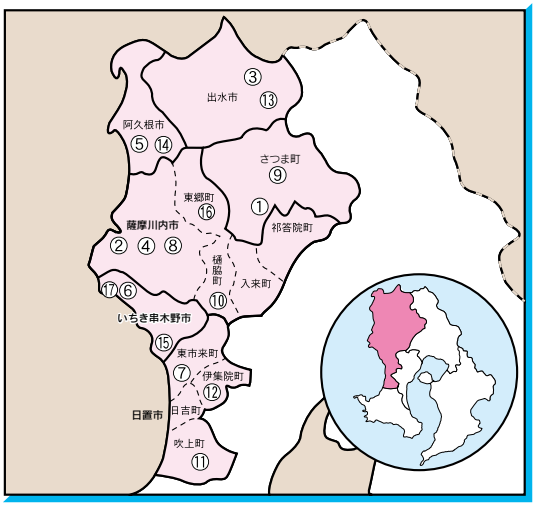
鵜木医院（指定介護療養型医療施設）
うのきデイサービス（認知症専用）
ヘルパーステーションアメニティ国分



⑩ろうけん大楠
〒899-5304　姶良市蒲生町下久徳1249-1
☎0995-54-3333　FAX 0995-54-3338

ろうけん大楠グループホーム「たんぽぽ」
ろうけん大楠居宅介護支援事業所
大楠苑（特別養護老人ホーム）

日置・川薩・北薩地区





①クオリエ
〒895-1804　薩摩郡さつま町船木2311-8
☎0996-52-1100　FAX 0996-52-1134

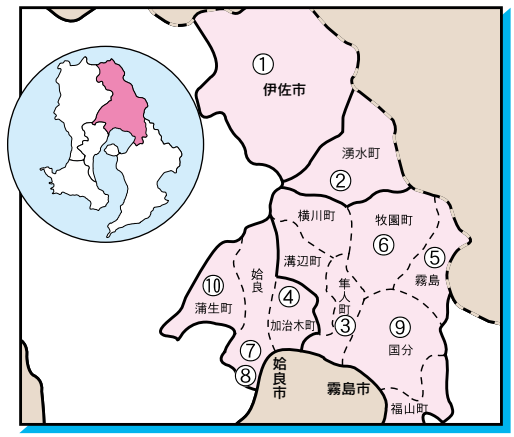
クオラリハビリテーション病院
訪問看護・リハクオラU
グループホームアリエ



②あじさい苑
〒895-0023　薩摩川内市横馬場町8-11
☎0996-23-6000　FAX 0996-23-6373

薩摩川内市在宅介護支援センターあじさい
きららクリニック
グループホームそら

伊佐・姶良地区





①はやひと
〒895-2504　伊佐市大口青木3022-33
☎0995-22-8000　FAX 0995-22-4868

大口温泉リハビリテーション病院
ことぶき園（特別養護老人ホーム）
グリーンハイツ周山（ケアハウス）



②寿芳苑
〒899-6202　姶良郡湧水町北方1857
☎0995-74-3300　FAX 0995-54-1236

あいらの森ホスピタル
グリーン光芳（特別養護老人ホーム）
グループホーム愛の里



③希望の里
〒899-5111　霧島市隼人町姫城2-157
☎0995-43-1600　FAX 0995-43-2359

隼人温泉病院（療養型病床あり）
訪問看護ステーション姫城
グループホーム「ゆうゆう」



④シルバータウン加治木
〒899-5241　姶良市加治木町木田4719-1
☎0995-62-5755　FAX 0995-62-5756

加治木温泉病院
加治木望岳園（特別養護老人ホーム）
龍門の里（軽費老人ホームＡ型）



⑤きりしま
〒899-4201　霧島市霧島田口2115-1
☎0995-57-3410　FAX 0995-57-3415

霧島杉安病院
訪問看護ステーションあんしん
グループホームゆめ



⑥サンライトホーム
〒899-6603　霧島市牧園町高千穂3617
☎0995-78-3811　FAX 0995-78-3387

霧島桜ヶ丘病院
霧島青葉園（身体障害者療護施設）
霧島青寿園（介護老人福祉施設）



⑫アンダンテ伊集院
〒899-2503　日置市伊集院町妙円寺3-1303-10
☎099-272-5181　FAX 099-272-5999
湯田内科病院
ケアセンターリエゾン日置
（居宅介護支援事業・訪問介護事業）



⑬ラ・フォンテいずみ
〒899-0214　出水市五万石町281
☎0996-62-7005　FAX 0996-62-7008
しもぞのクリニック
ラ・フォンテいずみ居宅介護支援事業所



⑭グリーンフォレストみかさ
〒899-1131　阿久根市脇本字柞木迫6313-1
☎0996-75-3222　FAX 0996-75-3238
黒木胃腸科外科医院
グリーンフォレストみかさ訪問看護ステーション
阿久根市在宅介護支援センターみかさ



⑮ライフハーバーいちき
〒899-2103　いちき串木野市大里2901-2
☎0996-36-5353　FAX 0996-36-5352
丸田病院
吹上園・市来松寿園
市来町在宅介護支援センター



⑯グレースホーム
〒895-1106　薩摩川内市東郷町斧渕8920番地
☎0996-21-6311　FAX 0996-21-6313
上村病院
グレースホーム訪問看護ステーション
グレースホーム居宅介護支援事業所



⑰ゆくさ白浜
〒896-0064　いちき串木野市羽島265-15
☎0996-35-0800　FAX 0996-31-0070
えんでん内科クリニック
（居宅介護支援事業・訪問介護事業）
グループホームもぜ

鹿 児 島 地 区



①城山老健
〒890-0014　鹿児島市草牟田1-4-10
☎099-225-3582　FAX 099-224-4096
植村病院
ケアハウス出会い坂
居宅介護支援・訪問介護センター草牟田出会い坂



②スイートケアなかよし
〒890-0005　鹿児島市下伊敷1-1-5
☎099-223-3390　FAX 099-223-6957
玉水会病院
いしき訪問看護ステーション

③城西ナーシングホーム
〒890-0046　鹿児島市西田1-16-1
☎099-258-9180　FAX 099-257-5712
土橋病院
居宅支援事業所（居宅支援・訪問看護・訪問介護）
デイサービスセンター　ケアガーデン西田



③ニューライフいずみ
〒899-0217　出水市平和町336-1
☎0996-63-8000　FAX 0996-63-3161
吉井整形外科内科中央病院
ユニット型老健グランアージュ
鶴寿園（特別養護老人ホーム）



④長生園ナーシングセンター
〒895-0076　薩摩川内市大小路町51-3
☎0996-22-1121　FAX 0996-22-1120
永井病院
在宅介護支援センター 長生園
グループホーム 自立の家



⑤回生苑
〒899-1611　阿久根市赤瀬川551
☎0996-72-1661　FAX 0996-73-3788
内山病院
阿久根市在宅介護支援センター
桜ヶ丘荘（特別養護老人ホーム）



⑥さるびあ苑
〒896-0002　いちき串木野市春日町63
☎0996-32-8841　FAX 0996-32-8873
宮之原循環器内科
串木野市在宅介護支援センター
慈正会居宅介護支援事業所



⑦シルバーセンター光の里
〒899-2503　日置市伊集院町妙円寺1丁目1-6
☎099-273-5600　FAX 099-273-5700
前原総合医療病院
グループホーム あったかハウス
訪問看護ゆの里・訪問介護ふる里



⑧グリーンライフ川内
〒895-0065　薩摩川内市宮内町磯田2633
☎0996-20-2500　FAX 0996-20-2570
今村クリニック（整形外科）
薩摩川内市在宅介護支援センター
薩摩川内市ホームヘルパー事業（老人と障害者）



⑨パラディーノほたるの里
〒895-2104　薩摩郡さつま町柏原493-5
☎0996-53-1010　FAX 0996-53-1007
立志病院
鶴田町在宅介護支援センター
居宅介護支援事業所　パラディーノほたるの里

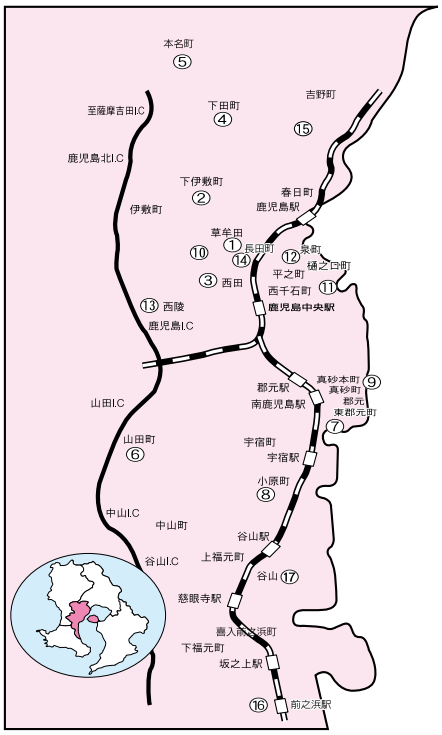


⑩グラン・ベリテひわき
〒895-1203　薩摩川内市樋脇町市比野2995
☎0996-38-2500　FAX 0996-38-2600
市比野記念病院
翠泉苑（特別養護老人ホーム）
指月苑（養護老人ホーム）



⑪湯の浦ナーシングホーム
〒899-3303　日置市吹上町湯之浦1353
☎099-296-5411　FAX 099-296-5422
外科　馬場病院
居宅介護支援事業所
（湯の浦ナーシングホーム・馬場病院）

あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所





⑬ナーシングホーム田上苑

〒890-0032　鹿児島市西陵6-21-18
☎099-283-0120　FAX 099-283-0517

みらいリハビリテーション病院
居宅介護支援事業所はるかぜ
クレセール天保山(介護付有料老人ホーム)



⑭ナーシングホーム城山の森

〒892-0854　鹿児島市長田町223
☎099-219-1122　FAX 099-219-1123

中村(哲)産婦人科・内科
博悠会温泉病院
特別養護老人ホーム城山苑



⑮ろうけん青空

〒892-0871　鹿児島市吉野町6040番地7
☎0570-00-4330　FAX 099-243-5599

明輝会クリニック
グループホーム帯迫＆ひばり
小規模多機能ホームひばり



⑯サンシャインきいれ

〒891-0205　鹿児島市喜入前之浜町7808-1
☎0993-43-1176　FAX 0993-43-1186

特別養護老人ホーム喜入の里
新田クリニック
小規模多機能 前之浜



⑰光徳苑

〒891-0141　鹿児島市谷山中央2-4515
☎099-260-9777　FAX 099-260-5093



④さくらんぼ

〒892-0873　鹿児島市下田町1759
☎099-244-8811　FAX 099-244-8700

鹿児島市在宅介護支援センターさくらんぼ
ヘルパーステーションさくらんぼ
居宅介護支援事業所さくらんぼ



⑤吉田ナーシングホーム

〒891-1304　鹿児島市本名町472
☎099-294-4561　FAX 099-294-4562

ケアプランセンター木蓮
ヘルパーステーション　ゆうばえ



⑥フレンドホーム

〒891-0104　鹿児島市山田町450
☎099-260-6000　FAX 099-268-1540

Tsukasa Health Care Hospital



⑦鴨池慈風苑

〒890-0068　鹿児島市東郡元町11-6
☎099-252-8291　FAX 099-252-5526

厚地脳神経外科病院
厚地リハビリテーション病院
在宅介護支援センター鴨池慈風苑



⑧愛と結の街

〒891-0111　鹿児島市小原町8-3
☎099-260-6060　FAX 099-284-5689

居宅介護支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
谷山病院
いづろ今村病院・今村総合病院



⑨ひまわり

〒890-0067　鹿児島市真砂本町3-81
☎099-285-2211　FAX 099-258-7971

大勝病院
訪問看護ステーション真砂本町
介護相談センター真砂本町



⑩まろにえ

〒890-0014　鹿児島市草牟田2-26-45
☎099-226-3270　FAX 099-226-3271

米盛病院
マロニエ訪問看護ステーション「護国」
整形外科米盛病院居宅介護支援事業所



⑪西千石

〒892-0847　鹿児島市西千石町8-13
☎099-223-3300　FAX 099-223-3560

日高病院
介護相談センター西千石
ヘルパーステーション西千石



⑫あさひ

〒892-0822　鹿児島市泉町8-2
☎099-225-8660　FAX 099-225-8601

中央病院
桜島病院
桜島苑(特別養護老人ホーム)



⑦おさしお
〒893-1103　鹿屋市吾平町麓3766-1
☎0994-58-5858　FAX 0994-58-5501
グループホームきらら
長﨑内科
陵幸園（特別養護老人ホーム）



⑧ハーモニーガーデン
〒893-0014　鹿屋市寿4-1-43
☎0994-41-7800　FAX 0994-41-7802
平和台病院
介護保険相談センターハーモニーガーデン



⑨コスモス苑
〒891-2124　垂水市錦江町1-140
☎0994-32-5200　FAX 0994-32-5280
垂水市立医療センター、垂水中央病院
垂水市立在宅介護支援センターコスモス苑
居宅介護支援事業所コスモス苑



⑩みなみかぜ
〒893-2301　肝属郡錦江町神川88-1
☎0994-22-3100　FAX 0994-22-3105
肝属郡医師会立病院
居宅介護支援事業所みなみかぜ



⑪サンセリテのがた
〒899-8313　曽於郡大崎町野方6047-3
☎0994-71-0088　FAX 0994-78-3201
はるびゅうクリニック
居宅介護支援事業所サンセリテのがた
介護付き有料老人ホームエコルたちお野



⑫ありあけ苑
〒899-7402　志布志市有明町野井倉8288-1
☎099-477-2331　FAX 099-477-2335
曽於医師会立訪問看護ステーション
曽於医師会立居宅介護支援事業所



⑬絆
〒891-2104　垂水市田神3536番地1
☎0994-32-6161　FAX 0994-32-6163
池田温泉クリニック
グループホームひまわり苑
小規模多機能ホームひまわりの里

南　薩　地　区



①指宿温泉菜の花苑
〒891-0402　指宿市十町418-1
☎0993-24-3255　FAX 0993-22-3239
今林整形外科病院
明正会介護支援ネットワーク菜の花
（居宅介護支援事業所）

曽於・肝属地区





①高原ナーシングホーム
〒899-8602　曽於市末吉町栄町2-11-1
☎0986-76-1170　FAX 0986-76-6530
高原病院
末吉町在宅介護支援センター
末吉訪問看護ステーション



②ナーシングホームひだまり
〒893-0024　鹿屋市下祓川町1853
☎0994-41-1200　FAX 0994-41-1727
池田病院
鹿屋訪問看護ステーション



③ケアセンターやごろう苑
〒899-8102　曽於市大隅町岩川5515
☎0994-82-5963　FAX 0994-82-5964
昭南病院
大隅地域訪問看護ステーション



④老春苑
〒893-1207　肝属郡肝付町新富525
☎0994-65-1500　FAX 0994-65-1160
春陽会中央病院
高山町在宅介護支援センター
訪問看護ステーションたんぽぽ



⑤ヴィラかのや
〒893-0014　鹿屋市寿8-21-2
☎0994-44-0021　FAX 0994-44-1226
恒心会おぐら病院
居宅介護支援事業所ヴィラかのや
訪問看護ステーションことぶき



⑥つわぶき
〒899-7103　志布志市志布志町志布志1-13-3
☎099-472-5666　FAX 099-473-3494
病院芳春苑（精神科）
ケアハウスぬくもり
グループホーム南の家族

熊毛・大島地区



①わらび苑
〒891-3101　西之表市西之表2981-1
☎0997-22-2600　FAX 0997-22-2601
社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター
わらび苑居宅介護支援事業所



②沖永良部寿恵苑
〒891-9112　大島郡和泊町和泊95-1
☎0997-92-3691　FAX 0997-92-3650
福山医院



③虹の丘
〒894-0046　奄美市名瀬小宿字苗代田3416-1
☎0997-54-8888　FAX 0997-54-8800
虹の丘訪問介護事業所
虹の丘居宅介護支援事業所
在宅介護支援センター虹の丘



④風花苑
〒891-9306　大島郡与論町麦屋字風花1305-5
☎0997-97-5011　FAX 0997-97-5012
龍美クリニック



⑤せとうち
〒894-0036　大島郡瀬戸内町大字阿木名1975
☎0997-73-1155　FAX 0997-72-4913
奄美中央病院
南大島診療所



⑥アマンデー
〒894-0504　奄美市笠利町節田字大湊1451-1
☎0997-63-1555　FAX 0997-63-0099
朝沼クリニック(診療所)
居宅介護支援事業所たちがみ
在宅介護支援センターたちがみ



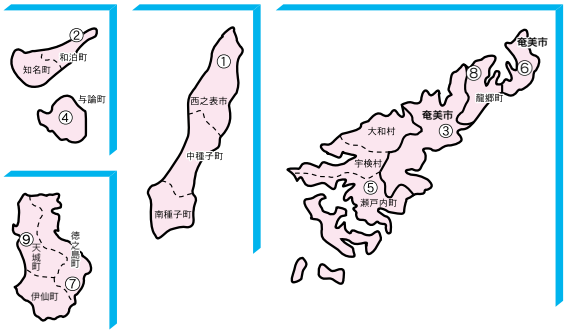
⑦サザンコート
〒891-7101　大島郡徳之島町亀津7268
☎0997-83-0061　FAX 0997-83-0093
医療法人南溟会　宮上病院
社会福祉法人奄美同仁会　特別養護老人ホーム　南風園

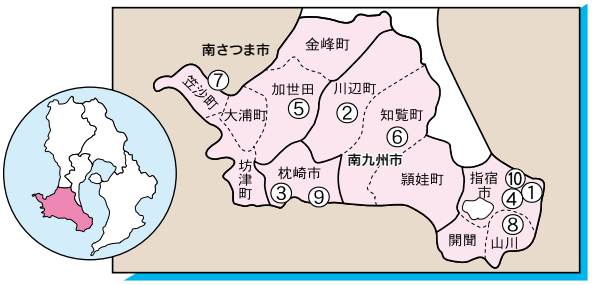


⑧秋名の郷
〒894-0332　大島郡龍郷町幾里字浜崎179
☎0997-62-4111　FAX 0997-62-4110
秋名の郷通所リハビリテーション
秋名の郷訪問介護事業所



⑨愛心園
〒894-0032　大島郡天城町瀬滝398番地
☎0997-85-5501　FAX 0997-85-5502







②かわなべ寿光苑
〒897-0221　南九州市川辺町田部田4848-4
☎0993-56-4311　FAX 0993-56-4331
菊野病院
寿光苑在宅介護支援センター



③エスポワール立神
〒898-0048　枕崎市火之神町630
☎0993-73-2266　FAX 0993-73-2265
小原病院
立神リハビリテーション温泉病院
ピースフル立神(介護老人福祉施設)



④指宿やすらぎ園
〒891-0304　指宿市東方7531
☎0993-24-5593　FAX 0993-24-5912
指宿竹元病院
指宿みどり館(認知症高齢者グループホーム)
老人性認知症センター



⑤ラポール吉井
〒897-0001　南さつま市加世田村原1丁目10-10
☎0993-53-8888　FAX 0993-53-8788
アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町
加世田アルテンハイム
グループホーム なでしこ



⑥シルバーライフちらん
〒891-0911　南九州市知覧町塩屋16016
☎0993-85-4095　FAX 0993-85-4096
ちらんクリニック



⑦さつま野菊園
〒897-1302　南さつま市笠沙町赤生木11372-397
☎0993-63-1000　FAX 0993-63-1950
大迫医院
フレンドリーハウス のぎく(グループホーム)
特別養護老人ホーム 石垣の里



⑧ヴァンベールみどりの風
〒891-0514　指宿市山川大山2056-4
☎0993-35-3355　FAX 0993-35-3522
指宿浩然会病院
指宿訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所



⑨サザンケアセンター
〒898-0011　枕崎市緑町236
☎0993-72-8855　FAX 0993-72-9233
サザン・リージョン病院
サザン訪問看護ステーション
南方園(介護老人福祉施設)



⑩指宿温泉ケアサポート
〒891-0311　指宿市西方1050番地
☎0993-25-3653　FAX 0993-25-5393
医療法人聖仁会

郷里の大地を大作に

祝迫正豊



表紙絵　「大地回想' 14」
変形 300 号大

毎年のように酷暑の夏、ゆっくりしたいが、夏休みは特別にない。

年中行事になっている絵の制作が6月から約3カ月、8月中旬お盆の入りまで続く。年中、あれこれと動いている方が自分らしいかなと思う。

8月初旬にひと呼吸できた。息子ファミリーの提案で、奥霧島で1泊。家族3世代用ホテル。広い1部屋に寝具6個、6人分。屋外プール、屋内では卓球、ビリヤードが楽しめる。

酷暑。仕上げの絵を忘れての夏休みの2日間になった。

野外に出ると仏留学した38年前の夏を思い出した。パリのアパートからスイスへ。そして暑かったイタリアのローマ、ベニスを家族5人で旅した。また日を変えてパリから電車でドイツ、ハンブルグへ。数日滞在後、そこからミュンヘンへ。ミュンヘンではレンタカーを借りてアウトバーンを走り、古城めぐりをした。ブレーメンからは電車でパリに帰った。

夏の旅行はしんどいが、行程表づくりは好きな方かもしれない。今は息子、子供たちが楽しくつくってくれるからうれしい。

今年の夏、長女がベトナム、ホーチミン市などへ研修の旅へ、次女が婿息子の留学先ロンドンへ。旅先のパリやベトナムの写真・メールがそれぞれから届く。

今回の表紙の絵は、私の郷里・頴娃や南九州市の50～60年前、昭和の日常、農家の生活を回想しながら、8つの場面を画面構成した絵だ。午後の休憩、農家の一隅、馬小屋などを回想して描いた。色調は午後の光、たそがれの色彩を意識した。ヨコ約4㍍×タテ約2㍍の大作。第99回二科展、国立新美術館開催出品作品である。東京への搬送は何とかなったが、2枚の絵の連結に手こずった。

本作品は南九州市新庁舎3階フロアに寄贈、展示してある。それぞれの想いでご鑑賞ください。



●作家略歴：祝迫　正豊（いわいざこ　まさとよ）
1952年　南九州市生まれ　　1986年　第70回二科展「特選」、鹿児島市「新人賞」
1988年　第43回南日本美術展「パリ賞」翌年フランス留学、パリ市で個展、第35回県美展 県美展賞（最高賞）
1992年　第77回二科展「二科賞」（最高賞）、他に会友賞、会員賞
1993年　文化庁現代美術展選抜展（全国巡回）
2000年　鹿児島県芸術文化奨励賞
2021年　南日本美術展「委嘱作家賞」
2023年　第107回二科展「東京都知事賞」
現在、二科会会員・理事、南日本美術展委嘱作家、鹿児島純心大学非常勤講師

編集後記

◇7月の九州ブロック老健長崎大会で、来秋、鹿児島で開かれる全国介護老人保健施設大会の実行委員たちが、「鹿児島」を猛アピールしました。舞台でおはら節を踊ったり、「西郷さん」が登場したり、大会会場には鹿児島ブースも設置され、「ここは本当に長崎？」と思うほど。メンバーの熱意に心打たれました。

◇この夏、広島平和記念資料館を訪れました。原爆の悲惨さを伝える多くの資料に圧倒され、何より原爆が落ちる前の住民たちの明るい笑顔の写真に胸がいっぱいになりました。資料館は多くの外国人で混雑していることにも驚きました。原爆の実相を知り、世界の平和を考えていきたいものです。

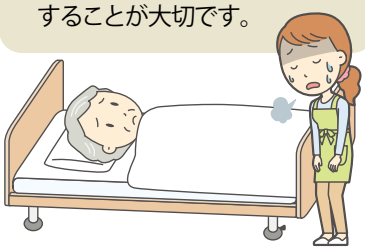
◇自分が通うギター教室の発表会があり、舞台で演奏しました。青春時代に大好きだった吉田拓郎の曲。緊張してうまく弾けずに恥ずかしかったですが、挑戦が大事だと自分に言い聞かせました。（米）

編集委員　米森　俊一（県老人保健施設協会理事）
加治屋　洋（さるびあ苑）
角之上　洋一（ひまわり）

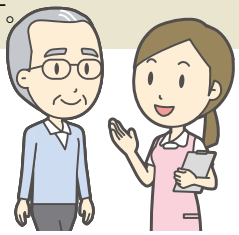
ろうけん鹿児島（令和8年秋号）
令和8年10月1日発行　通巻125号　無料
編集人　米森　俊一
発行人　今村　英仁
印刷所　濱島印刷株式会社　鹿児島市加治屋町16－20
発行所　公益社団法人　鹿児島県老人保健施設協会
〒890-0053　鹿児島市中央町8番地1　県医師会館3F
電話099(206)1047　FAX099(206)1075
E-mail:k-roken@po.minc.ne.jp
Website:https://kagoshima-roken.or.jp/

地域で支え合いましょう。

理解
虐待が起きる要因は様々です。
介護する側・される側双方の不安や悩みを理解することが大切です。



見守り
ご近所に気になる高齢者や介護をしている家族がいたら、ちょっとした声かけをお願いします。



相談
困りごとを抱えている高齢者や家族がいたら、地域包括支援センター等への相談を勧めましょう。



介護負担の軽減

１人で、家族だけでがんばりすぎないで

介護保険サービスなどを上手に使って、介護負担を減らしましょう

おもなサービス

●通所介護（デイサービス）／通所リハビリテーション（デイケア）
日帰りで食事・入浴などの介護や、心身のリハビリテーションを受けられます。
※介護者が自分の用事や外出する時間を持つことができます。

●訪問介護（ホームヘルプサービス）
ホームヘルパーが自宅を訪問し、食事、入浴。排せつなどの介護をします。

●短所入所（ショートステイ）
施設などに短期入所し、食事、入浴、排せつなどの介護や看護を受けられます。
※介護者が休養したい時、冠婚葬祭等で介護ができない時にも利用できます。



★利用には… 介護保険の認定申請が必要です。お住まいの市町村や地域包括支援センター、最寄りの居住介護支援事業書（ケアマネジャー）にご相談ください。

その他の制度や相談窓口

積極的に活用しましょう！！

制度

●成年後見制度
認知症などにより判断力が不十分な方について、本人の権利を守る援助者を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。
成年後見制度の利用や申立てについては、お住まいの市町村や地域包括支援センターにご相談ください。

（助成制度について）
低所得の高齢者に対しては、成年後見制度の申立て費用や後見人等の報酬の助成を行う「成年後見制度利用支援事業」による支援があります。詳しくは、お住まいの市町村や地域包括支援センターにご相談ください。

●福祉サービスしよう支援事業
判断能力に不安のある方に対する福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類等の預かりなどの生活支援をするサービスです。
詳しくはお住まいの市町村の社会福祉協議会または鹿児島県社会福祉協議会にご相談ください。

相談窓口

高齢者虐待についてのご相談は、お住まいの市町村又は地域包括支援センターへご相談ください。

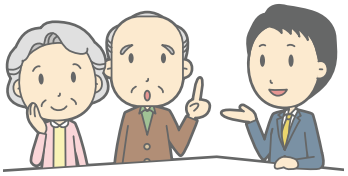
（連絡先記入欄）

※市町村及び地域包括支援センターの連絡先（電話番号）については、県ホームページにも掲載しています。

高齢者虐待防止　鹿児島　検索

●認知症に関する相談　【公益社団法人 認知症の人と家族の会鹿児島県支部】
（相談日／月～金　10:00～16:00）　※祝日、年末年始は除きます。
☎099－257－3887

●若年性認知症支援相談窓口　【社会福祉法人天祐会】
（相談日／月～金　10:00～17:00）　※祝日、年末年始は除きます。
☎099－251－4010



鹿児島県 保健福祉部 高齢者生き生き推進課　☎099－286－2674　令和７年１月発行